

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	国際教養学科			
科目名称	社会学						授業形態	講義		
科目コード	512120	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験担当教員			Active・L	○
担当教員名	呉 海鍾								ICT活用	○
授業概要	<p>本授業では、社会学の基礎的なトピックを取り上げ、学生が社会学の基礎知識を身につけることを目指している。また、社会的思考を育成するためには、様々な社会事象を多角的に分析する能力が必要である。そのため、本授業では多様な視点から様々な社会事象を解説し、学生が自ら考えられる改善案を導き出す思考力を養っていく。</p>									
関連する科目	社会学概論、現代社会論、グローバリゼーションと労働									
授業の方法と進め方	<p>授業は、講義とアクティブラーニング参加型を組み合わせた全15回の構成であり、毎回の授業後に学生には課題レポートや小テストを提出することを求め、学習の定着とフィードバックを促進する。さらに、グループワークやディスカッション、プレゼンテーションを通じて、学生がトピックを深く理解し、自己の意見を発展させる機会を提供する。トピックに関連する文献や資料を活用し、学生が自主的に学習できるようサポートする。学期末最終課題レポートや発表を通じて、学生の学習状況を総合的に評価する。</p> <p>毎回の授業では、教員がPCを活用してデジタル版の資料を提供し、学生の学習状況を確認するためにユニバーサルパスポートを活用する。さらに、学生はICTを使って調査し、事前に予習を行った上で授業に参加する。そして、グループワークやディスカッション、プレゼンテーション授業ではパワーポイント（PPT）を使ったKJ法などを用いたアクティブラーニングを実施する。</p>									
第1回	<p>オリエンテーション：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の進め方、目的、到達目標、評価方法等の説明を行う。 									
第2回	<p>社会学の基礎：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会学の基本的な概念や歴史的な経緯について概説する。 ・さらに、社会学のアプローチを理解し、社会学の研究対象や方法についても考察する。 ・その結果をミニレポートとして作成し、提出する。 									
第3回	<p>親密性と公共性：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共空間における社会的相互作用に焦点を当て、電車などの事例を通して親密性と公共性について考察する。 ・個人の行動や関係が公共空間でどのように影響を及ぼすかを議論する。 ・その結果をミニレポートとして作成し、提出する。 									
第4回	<p>相互行為と自己：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的地位と役割の関連性について考察する。 ・相互作用の中で個人がどのように自己を認識し、他者との関係を築いているかを調査する。 ・最後に、調査結果をまとめてミニレポートとして作成し、提出する。 									
第5回	<p>宗教と社会①：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗教と社会の関係や宗教が人々に与える影響について述べ、その後、日本の宗教観の変容や政治、社会、文化との関係性について議論する。 ・最後に、議論した内容をまとめてミニレポートとして作成し、提出する。 									
第6回	<p>宗教と社会②：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗教の分類や世界3大宗教である「キリスト教、イスラム教、仏教、ヒンドゥー教」について説明し、それぞれが持つ特徴や影響力について調査する。 ・その後、調査した内容をまとめてミニレポートとして提出し、小テストの回答としても提出する。 									
第7回	<p>ジェンダーとセクシュアリティ：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダーの概念やセクシュアリティの多様性について述べ、その後、ジェンダー平等の推進や性的マイノリティの権利に関する議論を行う。 ・最後に、議論した内容をまとめてミニレポートとして作成し、提出する。 									
第8回	<p>持続可能な開発目標（SDGs）①：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の日本の環境公害や健康被害の映像資料から学び、持続可能な開発目標に向けた対策を検討する。 ・その考察の結果をまとめてミニレポートとして作成し、提出する。 									
第9回	<p>持続可能な開発目標（SDGs）②：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの方向性と課題の解決について検討する。 ・具体的には、廃棄物処理とリサイクルの促進による持続可能なライフスタイルや地球温暖化への対策などに焦点を当てて調査する。 ・その調査の結果をまとめてミニレポートとして作成し、提出する。 									

第10回	<p>持続可能な開発目標（SDGs）③：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化の影響と対策（例：気候変動への対処と気候変動枠組条約・国際協力の重要性）について解説する。 ・講義中に学んだSDGSに関する内容を確認するための小テストの回答を提出する。
第11回	<p>都市化と地域社会：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市化の影響と地域社会の持続可能性について考察する。 ・最後に、考察した内容をまとめてミニレポートとして作成し、提出する。
第12回	<p>メディアと情報社会：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアの役割と情報の制御について調べる。 ・調査した内容をまとめてミニレポートとして作成し、提出する。
第13回	<p>空間と場所①：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会におけるコミュニティとアソシエーションなどの観点から分析する。 ・その分析した内容をまとめてミニレポートとして作成し、提出する。
第14回	<p>空間と場所②：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会が抱えている課題や問題について調査する。 ・その調査した内容をまとめてミニレポートとして作成し、提出する。
第15回	<p>最終レポートの課題と発表：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の実現に向けたアクションプランを作成する。 ・そして、作成したアクションプランを発表する。
授業の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会学に関する基礎的な知識を身につける。 ・多角的な視点を身につける。 ・様々な課題に関する改善案を考えられる思考力を養う。 <p>【これらは、学士力の一つである「態度・志向性」や「基礎的知識とその応用能力」に関連しており、社会学の知識を実践的な視点から展開し、問題解決に取り組む能力を身につけることができる。】</p>
学修成果との関連	1.自ら考える能力を有する。
授業時間外学習【予習】	毎回の授業テーマに関連する事項について、1時間程度かけて書籍、論文、またはインターネットなどを利用して調査し、必ず予習をしてから授業に参加する。
授業時間外学【復習】	復習は必ず毎回1時間程度行い、次の授業の時にきちんと前回の内容が理解できているようにする。各テーマごとに授業終了後に示す課題についてレポートを作成する。
課題に対するフィードバック	課題などへのフィードバックは、授業ごとに適切に行う。授業内で課題（小テストやレポートなど）に対するフィードバックを提供する。
評価方法・基準	授業への参加度、小テスト・ミニレポート、グループワーク等（50%）、②期末課題レポートと発表（50%）で算出する。
テキスト	本授業は、テキストを使用せず、適宜関係資料の配布、スライド、ビデオなどを使用しながら進めていく。
参考書	適宜授業で紹介する。
備考	